

# 県内経済動向調査結果（平成22年6月分）

平成22年 8月11日  
産業政策課

## 概 況

県内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、製造業を中心に持ち直しの動きが見られる。

主な業種	状 況
製 造 業	<b>持ち直しの動きが広がっている</b> 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比30.0%増、同32.7%増となった。3カ月先の業況見通しDIは18.8から12.9となった。
建 設 業	<b>公共工事の減少により弱めの動きとなっている</b> 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比3.8%減、同35.7%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8と横ばいであった。
小 売 業	<b>引き続き弱い動きとなっている</b> 売上高は前年同月比0.1%増、3カ月先の業況見通しDIは▲26.7から▲27.6となった。
サービス業	<b>運輸業で回復の動きが見られる</b> 売上高は前年同月比10.0%増、3カ月先の業況見通しDIは3.1から▲0.6となった。

# 製造業の動向

## 1 食料品

### 弱含みとなっている

生産額は前年同月比4.8%減と前年同月を下回っている。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から13.3となった。

酒類では、販売数量の減少により生産額が前年同月を下回っており、全体的に低調な動きが続いている。

また、調味料関連や魚加工食品で生産額が落ち込んでいる。

総じて見れば、ほとんどの企業で生産額が前年同月を下回っており、低調な動きが続いている。

## 2 繊維・衣服

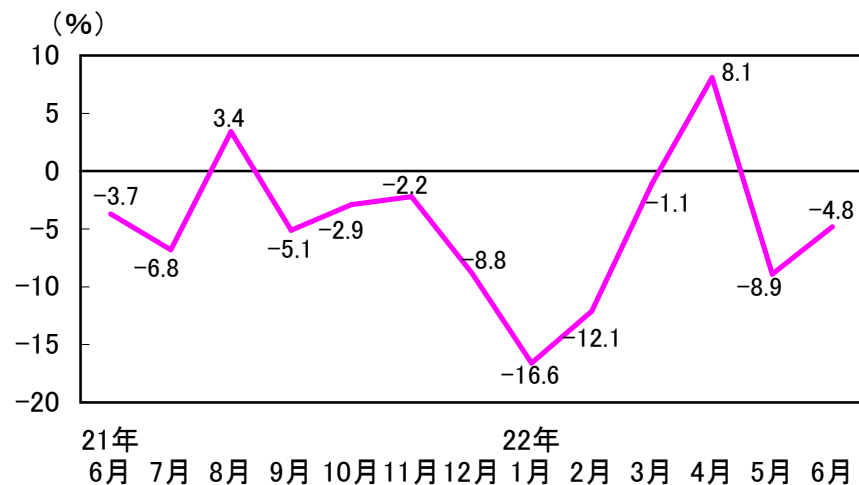
### 弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.9%増、同2.3%増。3カ月先の業況見通しDIは66.7から33.3となった。

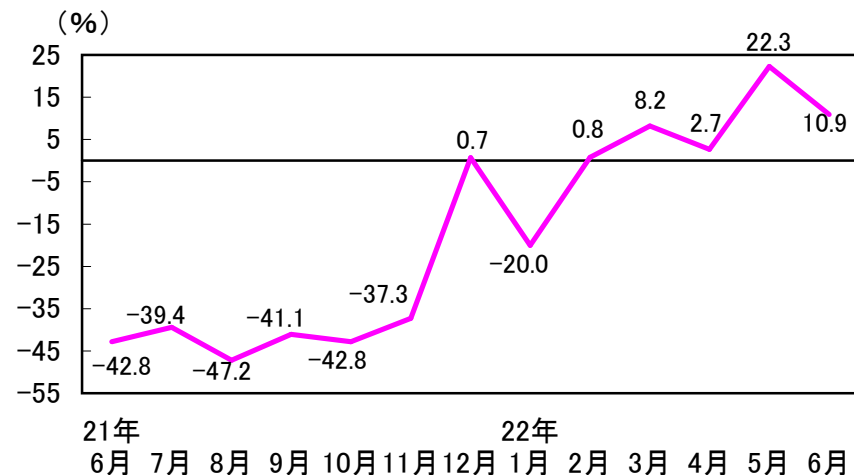
生産額が前年同月を上回る傾向が続いているものの、前年の生産額が悪かった反動によるものであり、一昨年水準には達していない。

一部企業では、秋冬物の受注により生産額の増加が見受けられるものの、総じて見れば弱めの動きとなっている。

### 食料品生産額前年同月比



### 繊維・衣服生産額前年同月比



### 3 木材・木製品

#### やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比18.7%増、同21.8%増。3カ月先の業況見通しDIは25.0と横ばいであった。

合板で、販売単価の値上がりと生産数量の増加に伴い生産額が増加している。

一般製材や集成材では、一部企業で生産額が増加しており、幾分改善されつつある。

なお、県内の新設住宅着工戸数は13カ月連続で前年を下回るなど依然低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

### 4 鉄鋼・金属製品

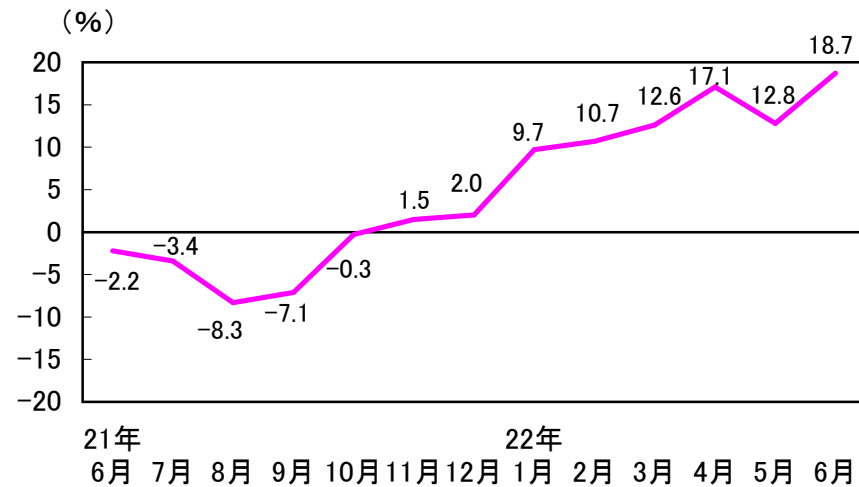
#### 弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比20.7%増、同27.1%増。3カ月先の業況見通しDIは36.4と横ばいであった。

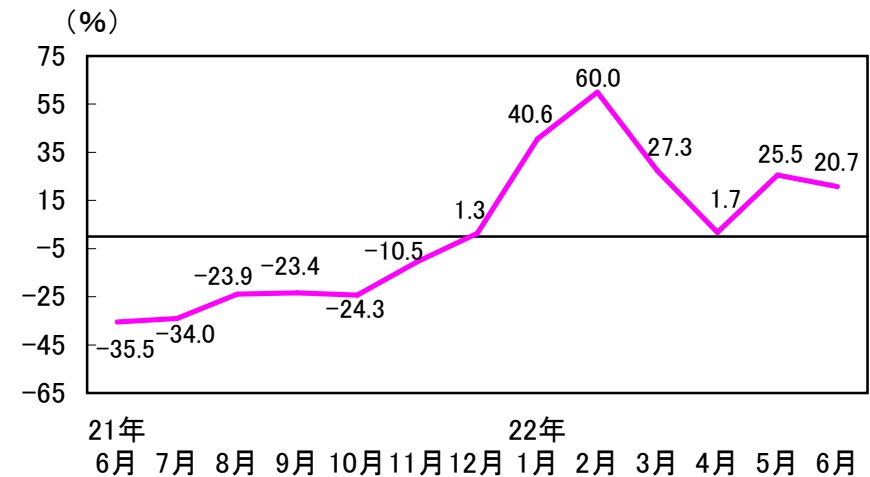
コンピュータ関連部品が好調に推移しているほか、自動車関連部品が好調となっている。

一方、産業設備関連やビル用建材関連では受注件数の減少などから、前年同月比でマイナスの状況となっている。

#### 木材・木製品生産額前年同月比



#### 鉄鋼・金属生産額前年同月比



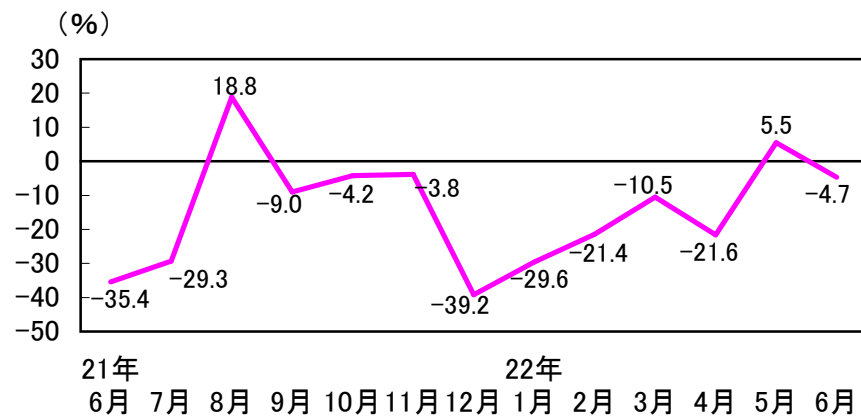
## 5 一般機械

### 弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比4.7%減、同26.3%減。3カ月先の業況見通しDIは37.5から0.0となった。

公共工事関連で生産額が増加している企業が見受けられるものの、総じて見れば、全体的に受注動向は思わしくなく、弱めの動きとなっている。

一般機械生産額前年同月比



## 6 電気機械

### 強めの動きとなっている

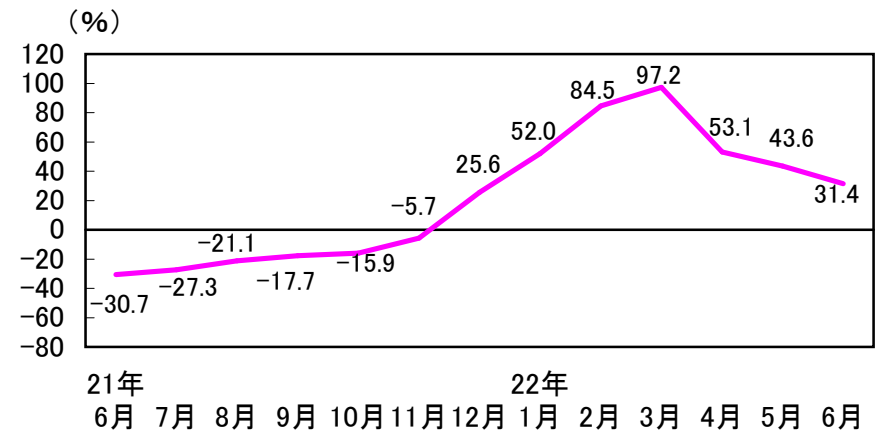
生産額、受注額は、それぞれ前年同月比31.4%増、同30.5%増。3カ月先の業況見通しDIは26.3から5.3となった。

前年の生産額の落ち込みが大きかったことから、前年同月比では大幅増となっているが、依然として一昨年水準には至っていない。

しかし、全体的に回復基調にあり、持ち直しの動きが続いている。

海外需要が好調であることから、コンデンサー、半導体関連、通信部品など、幅広い分野でフル生産状態となっており、雇用を増加して対応している企業も見受けられる。

電気機械生産額前年同月比



## 7 輸送機械

### 回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比109.5%増、同102.8%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0と横ばいであった。

好調な自動車販売に支えられ、引き続き生産額は増加している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いている。

## 8 精密機械

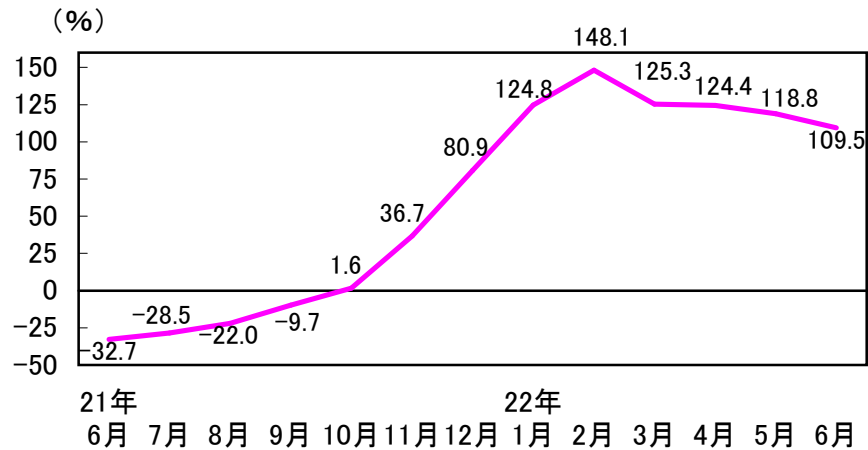
### 強めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比8.6%増、同19.2%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲12.5となった。

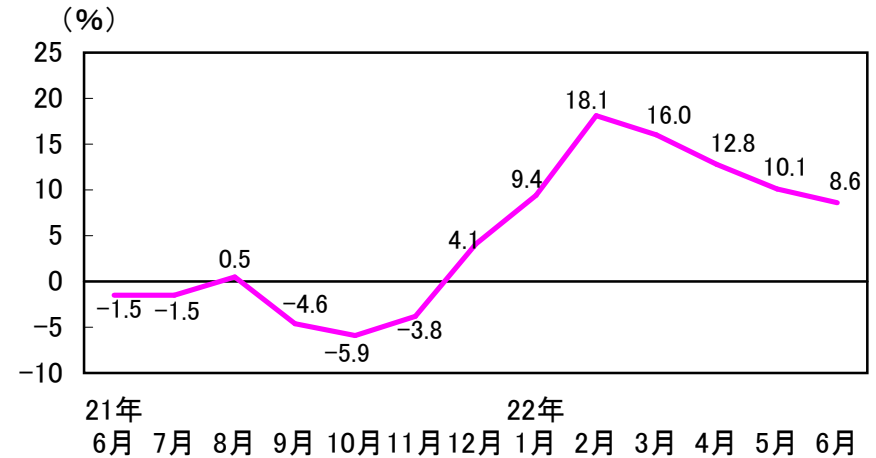
光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品など総じて生産額が増加しているほか、医療関連商品についてもフル生産状態となっている。

生産額は一昨年を上回るほどに回復しており、総じて好調に推移している。

輸送機械生産額前年同月比



精密機械生産額前年同月比



## 建設業の動向

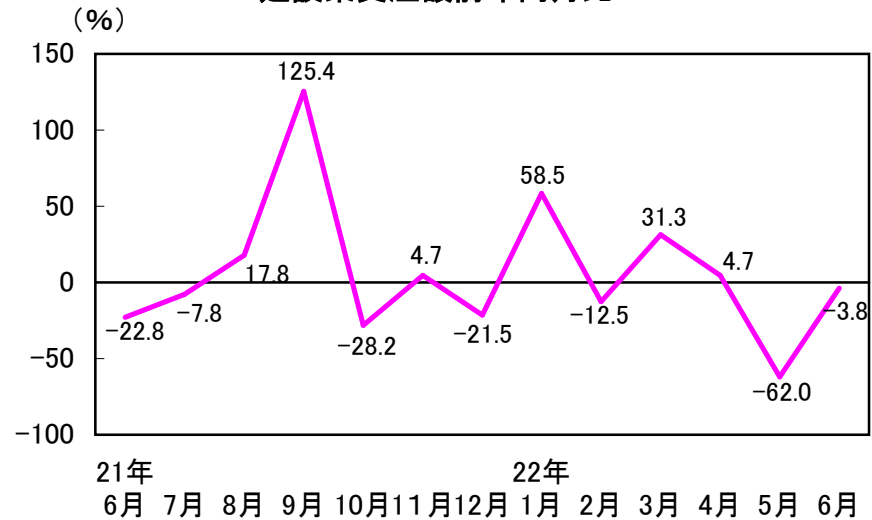
### 建設業

#### 公共工事の減少により弱めの動きとなっている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比3.8%減、同35.7%減。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8と横ばいであった。

公共工事の減少に伴い、全体の受注額は前年を下回っており、弱めの動きとなっている。

建設業受注額前年同月比



## 小売業の動向

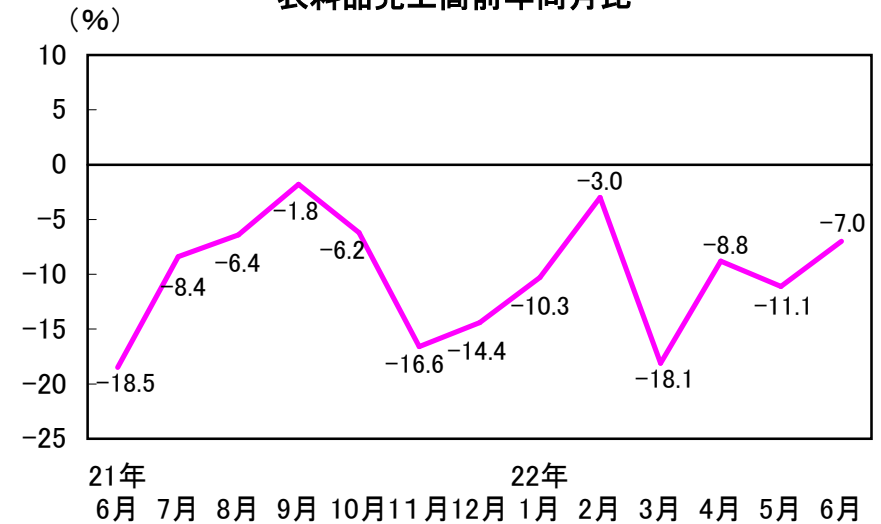
### 1 衣料品

#### 弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比7.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲20.0となった。

依然として買い控えによる売上額の減少が見られ、全体としても前年を下回るなど、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



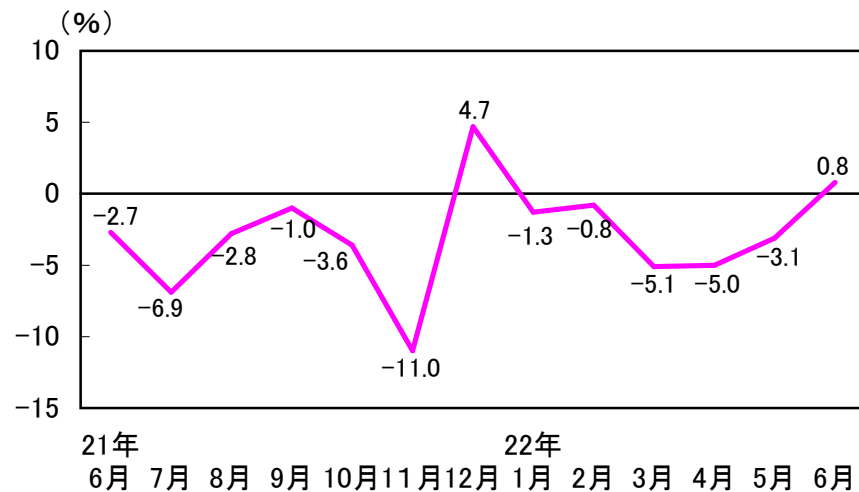
## 2 身回品

### 弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.8%増。3カ月先の業況見通しDIは▲14.3と横ばいであった。

一部企業ではイベントの開催や営業活動の強化により売上げを維持しているものの、総じて見ると弱含みとなっている。

### 身回品売上高前年同月比



## 3 飲食料品

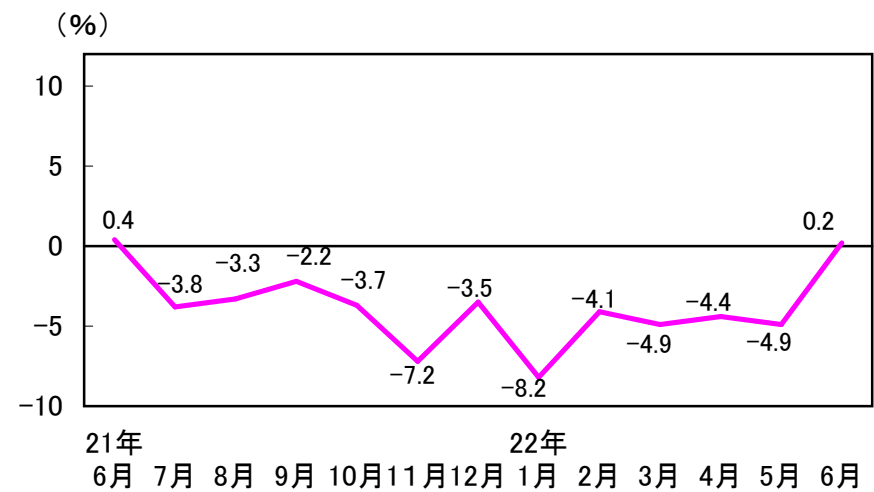
### 弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比0.2%増。3カ月先の業況見通しDIは▲30.8から▲53.8となった。

消費意欲の低迷や客単価の落ち込みは見受けられるものの、好天による気温の上昇に伴い、飲料品などの売れ行きが好調であった。

コンビニにおいても同様の傾向が見られ、全体の売上額は前年を上回った。

### 飲食料品売上高前年同月比



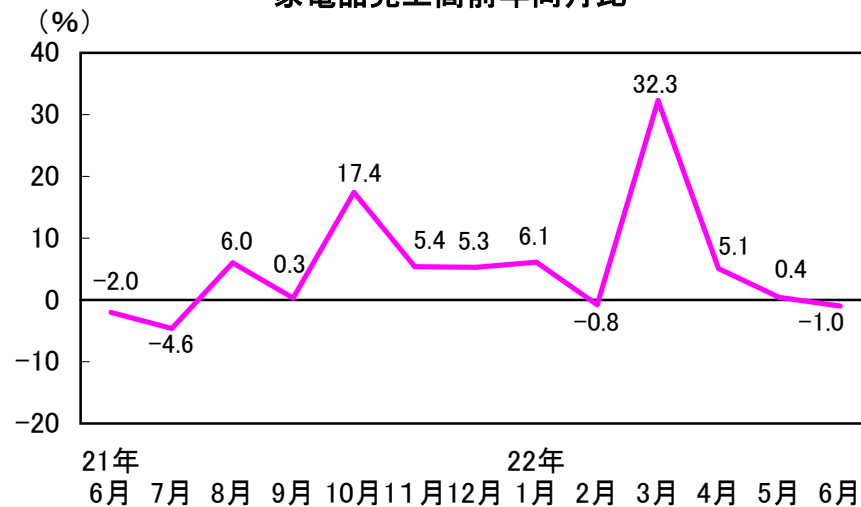
## サービス業の動向

### 4 家電品

#### 横ばいとなっている

売上高は前年同月比1.0%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0から25.0となった。  
 好天によりエアコンは好調であり、薄型テレビは台数が伸びているものの単価の下落が見受けられる。

家電品売上高前年同月比

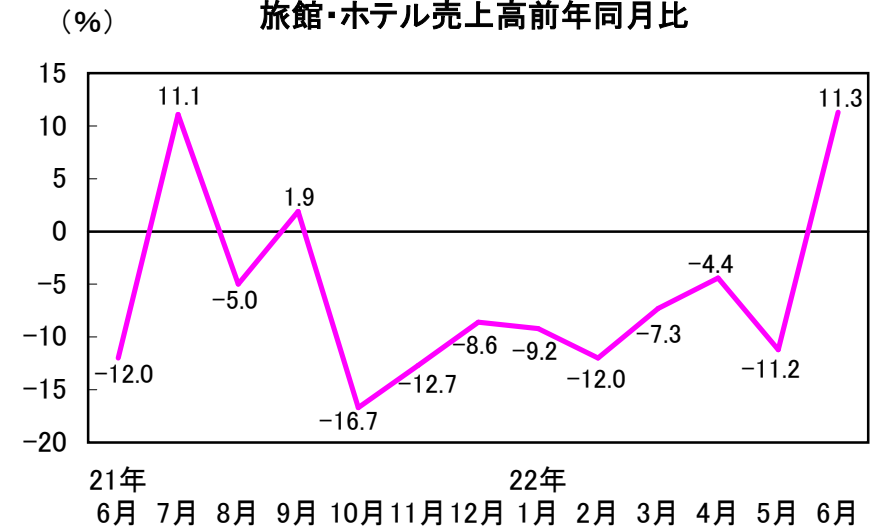


### 1 旅館・ホテル

#### 弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比11.3%増。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から▲13.3となった。  
 婚礼部門で売り上げを伸ばしたことから、前年を上回っている。

旅館・ホテル売上高前年同月比





## 2 その他サービス

### やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比9.2%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から7.7となった。

運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持している。

前年を上回る企業が多く見受けられることと、全体として一昨年の生産額を上回る状況にあることから、持ち直しの動きが見られる。

その他サービス業売上高前年同月比

